松原ダム・下筌ダム・大山ダムの事前放流及び洪水調節による治水効果(筑後川水系)

速報値

令和5年7月

位置図

〇梅雨前線の接近により、松原ダム上流域において385mm(6月28日9時~7月2日4時、約4日間)、大山ダム 上流域において423mm(6月28日9時~7月1日19時、約3.5日間)の累加雨量を観測。

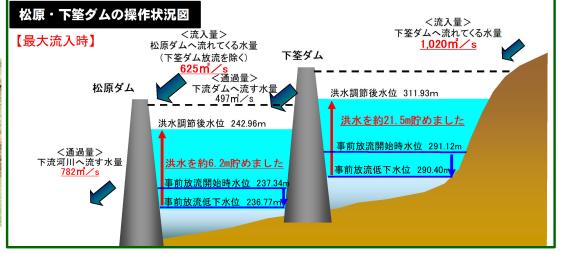
〇6月30日までの事前放流により、松原ダムで貯水位を約60cm低下させて約38万m3を追加して事前に容量を 約4,562万m3確保し、下筌ダムで貯水位を約70cm低下させて約26万m3を追加して事前に容量を約5,051万 m3確保。洪水時は各ダムに流れ込む水量の一部を貯め、ダム下流へ流す水量を合計で約5割低減。

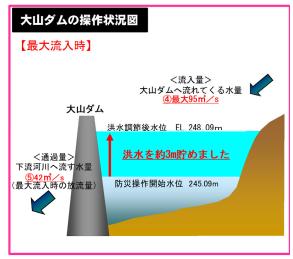
〇これにより、ダム下流の小渕地点において約47cmの水位の水位を低下させたと推定。

流域図



下筌ダム 大山ダム





筑後川水系 松原ダム 大分県目田市大山町 ダム下流側

松原ダム

筑後川水系 下筌ダム 熊本県阿蘇郡小国町 ダム放流口

下筌ダム

水位低減効果(小渕地点)

